

3年ぶりに大阪で開催いたします！

第251回ゴム技術シンポジウム

基礎から応用技術でみるゴムのトライボロジー(Ⅲ)

主催：日本ゴム協会研究部会 トライボロジー研究分科会

協賛：日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本合成樹脂技術協会、
日本材料学会、日本接着学会、日本複合材料学会、プラスチック成形加工学会、
マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会、日本レオロジー学会 (予定・順不同)

ゴム・エラストマーの摩擦・摩耗は複雑な現象であり、日々新たな知見が明らかにされている。本シンポジウムではゴム・エラストマーのトライボロジーの基礎的現象の理解を助けるとともに、その応用につながる新規技術を紹介する。

日時：2019年1月24日(木) 9:55~17:15

場所：大阪科学技術センター404号室(大阪市西区靱本町1-8-4 TEL:06-6443-5324)

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 23,760円 日本ゴム協会学生会員 5,400円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受付けます

シニア制度対象会員 11,880円(60歳以上の正会員) 会員外 32,400円

申込方法：弊会ホームページ <http://www.srij.or.jp/>よりお申込みください。(定員50名)

送金方法：銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。

振込み手数料は受講者側でご負担ください。

一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第251回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL:03-3401-2957 FAX:03-3401-4143 E-mail:kenkyuubukai@srij.or.jp)

- | | | |
|-------------|----------------------------------|--|
| 9:55~10:00 | 開会のあいさつ | トライボロジー研究分科会主査 岩井 智昭
【座長】産業技術総合研究所 二瓶 光弥 |
| 10:00~11:00 | 「ゴムのトライボロジーの基礎」 | 金沢大学 岩井 智昭氏
ゴムのトライボロジーの基礎を、簡単に説明する。 |
| 11:00~12:00 | 「エラストマーの超音速トライボロジー」 | 九州大学 山口 哲生氏
通常、固体間のすべり摩擦においては、すべり速度は摩擦材の音速(弾性波速度)に比べて極めて小さい。しかし、2つの物体のうち片方がエラストマーのようなやわらかい物質であると、音速が1-10m/sと小さいため、すべり速度は容易に音速を上回るようになる。本講演では、超音速摩擦に関する我々の実験結果を報告する。また、身の周りのいろいろな場面に超音速摩擦が現れることを例示することで、その重要性を伝える。
【座長】化学物質評価研究機構 伊東 寛文 |
| 13:00~14:00 | 「表面粗さパワースペクトルの計測とタイヤゴムの摩擦のモデリング」 | 大阪大学 田中 展氏
本講演では、表面高さデータの2次元パワースペクトル密度の計測について詳しく説明する。
また、粗い表面を対象としたタイヤゴムの摩擦モデルについても紹介する。 |
| 14:00~15:00 | 「靴底のグリップ設計に関する研究と応用」 | (株)アシックス 西 駿明氏
摩擦の発生メカニズムに着目した靴底のグリップ設計に関する研究例と応用例を紹介する。
【座長】金沢大学 岩井 智昭 |
| 15:10~16:10 | 「タイヤがセンサーになる~新しいタイヤセンシングシステム~」 | 住友ゴム工業(株) 川崎 裕章氏
タイヤの回転により発生する車輪速信号を解析することで、付加的なセンサーをタイヤに貼り付けることなく、「タイヤの空気圧低下」や「路面とタイヤ間の滑りやすさ」、「タイヤにかかる荷重、摩耗」などの情報を検知する技術について解説する。 |
| 16:10~17:10 | 「最新の自動運転技術と公道実証実験の取り組みについて」 | 金沢大学 米陀 佳祐氏
自動運転の要素技術と金沢大学実施中の市街地公道実証実験について紹介する。 |
| 17:10~17:15 | 閉会のあいさつ | トライボロジー研究分科会副主査 二瓶 光弥 |

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。